ボーリング柱状図

調　査　名　事業用地地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo	S	A	0	2	2	0	0	1	0	0	3

シートNo

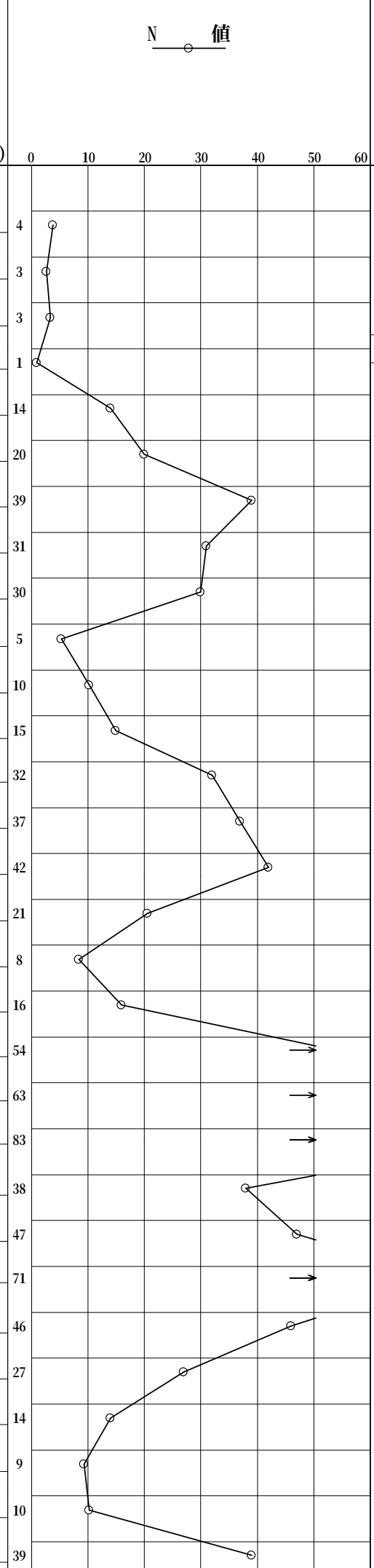
ボーリング名	B-1	調査位置	埼玉県鶴ヶ島市大字太田ヶ谷79番地2地内			北緯	35° 55' 20"
発注機関	鶴ヶ島市役所			調査期間	平成 22年 12月 20日 ～ 23年 2月 25日	東経	139° 23' 40"
調査業者名	有限会社地質技研 電話	主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=40.75m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	30.45m								

試錐機	D0-D	ハンマー落下用具	半自動落下
エンジン	NFD12	ポンプ	BG3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	40.15	0.60	0.60		盛土	暗褐			ローム主体の粘性土。 0.40m付近はアスファルト片を混入	
1					ローム	茶褐～黄茶褐		軟らかい～中位	粘性・含水中位。均質な関東ローム 1.0m付近まで植物根を混入。 2.25m付近は含水多い。 3.0m付近に炭化物を混入。 4.0m付近より色調変化し，粘土質でやや含水多い。	1/17 2.10
2										
3										
4	36.35	3.80	4.40							
5	35.65	0.70	5.10		凝灰質粘土	黄褐～暗褐			含水多い。粘性強い。 5m付近より礫を混入。	
6					粘土質砂礫	青灰～黄褐～暗黄褐	中位～密な		含水中位。部分的に含水多い。 φ2～30mm前後の亜角礫が主体。 最大礫径φ80mm前後。 マトリックスは粘土と粗砂。 礫は風化礫主体で砕けやすい。 5.25～5.30m間は粗砂を挟む。	
7										
8										
9										
10	30.65	5.00	10.10							
11	29.50	1.15	11.25		砂混じり粘土	青灰～暗灰		中位	粘性・含水中位。細砂を混入。 10.10～10.15m間は礫混じり粘土質細砂を挟む。 10.80m付近は礫を混入。 11.10～11.25m間は粗砂を挟む。	
	29.10	0.40	11.65							
12					粘土	暗灰			やや含水多く，粘性強い。	
13	27.00	2.10	13.75		粘土混じり砂礫	暗青灰～暗黄灰	中位～密な		含水多い。 φ2～30mm前後の亜角礫が主体。 最大礫径φ60～80mm前後。 マトリックスは粘土と粗砂。 12.25～12.50m間は粘土を挟む。 13.30m付近より色調変化。	
14					粘土質砂礫	黄褐	中位～密な		含水中位。部分的に含水多い。 φ2～30mm前後の亜角礫が主体。 最大礫径φ60mm前後。 マトリックスは粘土と粗砂。 礫は風化礫主体で砕けやすい。 12.75～13.25m間は粘土分を多く混入。	
15										
16	24.05	2.95	16.70							
17					粘土	暗緑灰～青灰		硬い～非常に硬い	粘性・含水中位。 少量の細砂を混入。 所々，酸化し褐色。 18.35m付近より色調変化。	
18	22.10	1.95	18.65							1/17
19					粘土質砂礫	暗褐～暗黄褐～暗褐～黄褐～青灰	密な～非常に密な		含水中位。部分的に含水多い。 φ2～30mm前後の亜角礫が主体。 最大礫径φ80mm前後。 マトリックスは粘土と粗砂。 礫は風化礫主体で砕けやすい。 色調一定しない。 25.85m付近よりφ2～15mm前後の礫が主体で粘土・粗砂を多く混入する。	
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26	14.40	7.70	26.35							
	13.95	0.45	26.80		粘土	黒褐			粘性・含水中位。有機物を混入。	
27					硬質粘土	茶灰～暗灰		硬い	含水中位。粘性強い。 有機物を混入。 27.25m付近で色調変化。 28m付近は小礫を点在する。 29.70m付近より細砂を混入。	
28										
29	10.85	3.10	29.90							
30	10.30	0.55	30.45		粘土混じり砂礫	青灰	密な		φ2～20mm前後の亜角礫が主体。 マトリックスは粗砂。含水多い。 29.90～30.15m間は細砂を挟む。	1/18

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1/8	2/13	4/31	4
1.46 2.15	1/15	1	1/8	3/33	3
2.48 3.15	1/11	1	2/14	4/35	3
3.50 4.15	1/30			1/30	1
4.45 5.15	5	3	6	14/30	14
5.45 6.15	6	7	7	20/30	20
6.45 7.15	11	11	17	39/30	39
7.45 8.15	10	10	11	31/30	31
8.45 9.15	9	9	12	30/30	30
9.45 10.15	2/8	2/12	2/14	6/34	5
10.49 11.15	7/11	3/14	2	12/35	10
11.50 12.15	9/11	5	3/13	17/34	15
12.49 13.15	4	13	15	32/30	32
13.45 14.15	11	11	15	37/30	37
14.45 15.15	17	15	10	42/30	42
15.45 16.15	8/12	7	7	22/32	21
16.47 17.15	2/11	3/11	4	9/32	8
17.47 18.15	5/11	6/9	5	16/30	16
18.45 19.15	15	17	18/8	50/28	54
19.43 20.15	15	26	9/4	50/24	63
20.39 21.15	26	24/8		50/18	83
21.33 22.15	11	14	13	38/30	38
22.45 23.15	13	16	18	47/30	47
23.45 24.15	22	26	2/1	50/21	71
24.36 25.15	15	15	16	46/30	46
25.45 26.15	9	12	6	27/30	27
26.45 27.15	4/11	5	5/9	14/30	14
27.45 28.15	3/12	3	4	10/32	9
28.47 29.15	3/11	4/11	4	11/32	10
29.47 30.15	7	14	18	39/30	39
30.45					



原位置試験

深度(m)	試験名および結果
3.70 4.30	孔内水平載荷試験

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）
2.00	1-1	Ⓣ	物理一軸三軸
2.90			
4.40	1-2	Ⓣ	物理一軸三軸
5.00			

掘進月日